

つながり

市同協加布里支部

令和5年3月1日発行

平成10年起

第96号

加布里コミュニティセンター(歌舞里館)

TEL/FAX322-3026



本年度は、新型コロナウイルスも感染対策が少し緩み、映画祭や人権講演会など人数制限しながらではありますが、実施することができました。

今年の5月には新型コロナ感染もインフルエンザと同じ5類へ引き下げられると言われていますが、油断せず感染対策を行いながら諸行事を充実させていきたいと思ひます。

行政区研修へのお誘い

各行政区ごとに、人権に関する研修会が持たれています。本年度は6行政区で行われました。DVDを視聴し、人権指導員からの説明を聞きます。来年度参加して、人権について考えてみませんか。

【本年度のDVD】

☆「夕焼け」

ヤングケアラー問題を取り扱った作品

☆「カンパニュラの夢」

8050問題を取り扱った作品

令和4年度 事業報告

会計監査	4月2日(土)	歌舞里館
理事会	5月8日(日)	書面決議
総会	5月15日(日)	書面決議
行政区 人権研修	8月21日(日)	神在二 「夕焼け」
	10月22日(土)	東 「夕焼け」
	11月6日(日)	岩本 「夕焼け」
	11月12日(土)	神在五 「カンパニュラの夢」
	12月18日(日)	神在一 「夕焼け」
	2月18日(土)	神在三 「夕焼け」
同和問題啓発	7月2日(土)	街頭啓発 (サニー) 講演 (権藤氏)
視察研修	9月16日(金)	大牟田市 石炭産業科学館 他
ギャラリー展覧	10月18日～10月25日	
人権映画祭	12月3日(土)	街頭啓発(サニー)
		人権標語表彰式(加布里小学校5・6年生) 人権映画 「あの日のオルガン」
広報誌 「つながり」	7月1日	総会内容・小学校の取組
	11月1日	視察研修報告・映画案内
	12月1日	人権標語
	3月1日	ありがとうメッセージ・中学校の取組

災害と地域コミュニティ

ロシアのウクライナ侵攻が続く中、また不幸なできごとが発生しました。トルコ南部を震源とする大地震です。この地震による犠牲者は二〇一一年の東日本大震災を大きく超えています。報道画面には被災地の状況の中で奮闘する救助隊員の様子が伝えられています。その中には一般市民が救助を行う姿も多く見られます。

災害の救助にあたられた方の話しによると、コミュニティの高い地域ほど、救助の確率が高かったそうです。この事例からも分かるように、日頃の近隣の人達とのコミュニケーションがいかにか大切かということ。残念なこと、生活が便利で快適になる一方で従来のような地域コミュニティが損なわれています。情報保護の意識もあり、人に救いを求めにくい社会になってきているのかもしれませんが、互いのプライバシーに配慮しながらも隣近所の方とのあいさつや会話が重要だと思ひます。

市同協加布里支部

支部長 谷口 勝則

100字で伝える ありがとうメッセージ



募集しておりました100字で伝えるありがとうメッセージご応募ありがとうございました。

お父さんへ

乳がんがわかり心がおれそうな私をうけ止めてくれてありがとう。買物、食事の用意、かたづけ他、助けてくれてありがとう。もう少しかかるけど、私もがんばるのでよろしく。

お父さんありがとう。

加布里中 あつこさん

生まれてきてくれてありがとう。あんなに小さかったのに、元気な子になったね。友達もたくさんできたね。いろんなことに挑戦している姿を頼もしく思っています。健康に気を付けていくなだよ。異国の娘へ、里の父より。

神在三 ふる里の父さん

夫は74歳、民営化前の郵政省時体調を崩し早期退職以来、犬の散歩をかね、町のごみ拾いが始まる毎週1回、平原遺跡まで草取りや掃除にも通っている。昔1回だけ草取りを手伝うが大変だった。みかえりを求めない彼の生き方にありがとう。

神在二 坂本力子さん

ばあばの相棒軽トラくん。軽トラ！

君は雪の降る寒い日も、じりじりと暑い夏の日も、毎日毎日ばあばと畑へ水を運んでいたね。明日はばあばの免許返納の日。今までありがとう。僕は新しい君の相棒、よろしくね！

神在四 さらりさん

加布里小学校へ

けんかした日、一緒に笑いあえた日、思い出が小学校の色々な所に数えきれないほどつまっています。卒業してもいつかまた小学校に行く日を楽しみにしています。たくさんの思い出をありがとう。

岩本 荒木にこりさん

メッセージ…心に暖かい風がふきぬけて、あついものがこみ上げてきました。"ありがとう"やさしくうれしい感謝の言葉ですね。春の訪れを楽しみながら、ご家族、ご友人、学校生活と日々の会話に花を咲かせ、たくさんの笑顔を増やしていきたいものですね。まだまだ寒い日が続きますがお体にお気を付けください。

佐藤眞弓

輝く生徒をめざして

前原西中学校 人権・同和教育担当 土生 唯信

前原西中学校は、学校の教育目標である『郷土を愛し、心豊かで心身共に逞しく、主体的に学ぶ実践力を身に付けた生徒の育成』に向けて、「地域や他者と関わり、自らの伸びを実感できる生徒」を重点目標にしています。そこで、本年度に行っている教育活動の紹介をします。

前原西中学校では、『思いやりの心をはぐくむ～一人ひとりが自分らしく』をテーマに、LGBTQ支援団体である「I'm me」の代表理事でいらっしゃるROSE（本名 宮崎猛志）さんに講演と歌のライブをしていただきました。

ROSEさんご自身の経験を元にしながら、本当に悩んで苦しいとき、つらいときに一番信頼できる存在のROSEさんの奥さんが居てくれたこと、そして、話を聞いてくれ、本気で向き合ってくれたこと、支えられたことで今の自分があるとおっしゃっていました。もし、「苦しいことやつらいことがあったら、自分が一番信頼できる人に、勇気をもってそのつらいことを伝えてほしい。」と、また、打ち明けられた人は、「そのつらさを救ってあげる人（キャッチャー）になってほしい」とおっしゃっていました。

「一番大切なのは「命」。悩みを聞き取って寄り添う人が居れば、その大切な「命」はつながる」とも、ROSEさんはおっしゃっていました。生徒たちは真剣に話を聞き、公演後の感想からも、ROSEさんのメッセージが十分に伝わっていました。



地域と学校が手を携えて子どもたちを見守り育てていくことは大切なことです。学校でどのような人権の取組がなされているか興味をお持ちの方、市の教育委員会が作成した学校教員向けの指導資料「人権教育の手引き」1～4をコミュニティセンターにおいていますので、事務室にお声をおかけください。

人権教育の手引き1（「がいじ」発言への対応） 人権教育の手引き2（ネット上のトラブルへの対応）

人権教育の手引き3（多様な性の理解） 人権教育の手引き4（外国人が持つ多様な文化の理解）